



**第2回つくば3Eフォーラム**  
平成20年5月31日(土)・6月1日(日)  
場所：筑波大学 学会館

# 省エネで人にやさしい 交通システム

第2回つくば3Eフォーラム  
ワークショップ アーティクル2  
全体ワークショップ報告・提言

平成20年6月1日(日)  
10:00~12:00  
筑波大学 学会館 国際会議室

# 本ワークショップの目標

- ✦ 交通・輸送部門におけるつくば市のCO<sub>2</sub>排出量の現状を踏まえ、
- ✦ 2030年までにつくば市の二酸化炭素排出を50%削減するという目標の実現のために、
- ✦ 交通部門で実行可能なアクションプランを提示し、
- ✦ 省エネで人にやさしい低炭素型交通システムに向けてのロードマップを作成する。

# ワークショップの進行

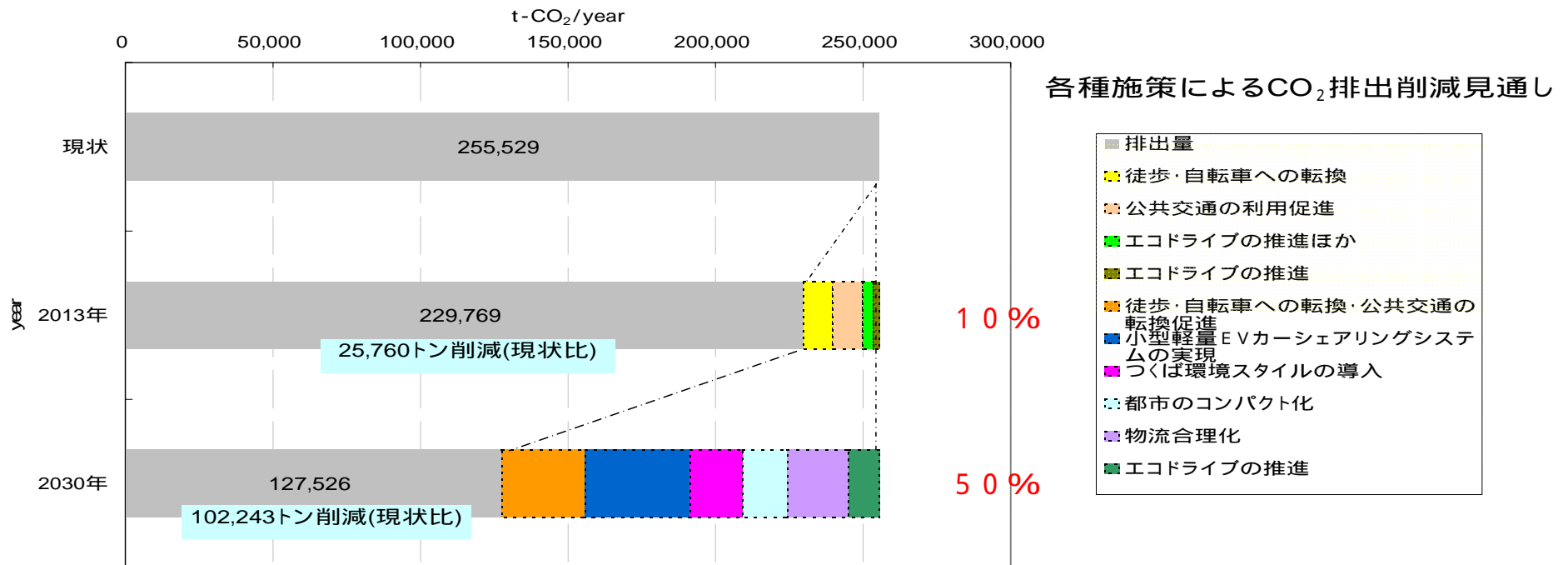
- つくば市の交通部門のCO<sub>2</sub>排出の構成
- つくば市でできそうな対策と効果(技術, ハード, ソフト)
- つくば市の将来像
- 各主体の取り組み(研究者, 行政, 市民)
- ロードマップと行動計画
- コンビナー総括(全体会議に報告)

# 話題提供 (敬称略)

- つくば市内における交通に起因したCO<sub>2</sub>排出量の試算  
筑波大学 岡本直久
- 車と自転車, 電動は人を動かすか  
国立環境研究所 近藤美則
- さらなる自転車の活用に向けた市民の取り組み  
国土技術政策総合研究所 大脇鉄也
- 人と交通と地域はどこに向かうのか  
国立環境研究所 松橋啓介
- つくば市の交通施策の取り組み  
つくば市都市建設部長 山田 茂

# 報告・提言

低炭素型交通システムの実現には、自動車交通をいかに減少させるかが重要。2013年に10%、2030年に50%の削減を実現するために必要な削減量を試算。

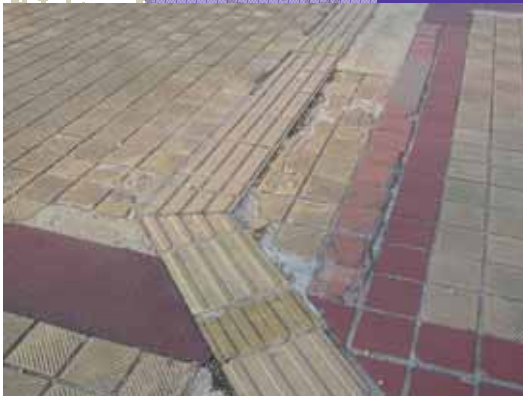




# 報告・提言

🐝 自転車の活用を進めるには、安全で安心な自転車利用環境の整備が必要かつ有効。

自転車マップ



# 報告・提言

公共交通機関のさらなる活用，適切な役割分担と組合せを考えていくことが大事。





# 報告・提言

🐝 長期的な取り組みのための短期的取り組みについても、今から始めるべき。





# 報告・提言

- (本日取り上げることのできなかった論点も含め,) 目標の実現のために, 今後も市民, 行政, 企業, 研究機関が将来像を描いていくための議論と行動を続けていく.